

市立

# 小諸高原美術館・白鳥映雪館



～ 20年後の自分へ送るメッセージと自画像展 ～

令和2年度 **20年後のわたしへ展**

3月14日(日)～4月18日(日)

市内6小学校6年生全員の「自画像」と20年後の自分に宛てた「メッセージ」約370点が、一堂に並びます。小学校卒業を間近に控えた6年生が、中学校という新しいステージへ羽ばたこうとする自分と向き合い、様々な技法で今の自分を表現しています。一人一人のメッセージには、どんな思いが込められているのでしょうか。ぜひ、会場にてご覧ください。

また、芦原中学校、東中学校の生徒や小諸高校美術部の生徒による作品も併せて展示します。

なお、昨年度は、コロナ禍により会期の途中で臨時休館となってしまったため、昨年度の小学校6年生の作品を再度展示します。



昨年度の小学校6年生の自画像作品も再展示します

## ◆会場

小諸高原美術館 第1・2展示室、市民展示室

## ◆開館時間

【3月末まで】9:00～16:00

【4月以降】9:00～17:00

## ◆休館日

3/15(月)、22(月)、29(月)、4/5(月)、12(月)

☎ 小諸高原美術館・白鳥映雪館

☎ 26-2070

昆虫写真家

## 海野和男の小諸日記



### あるルリタテハの死

この写真を撮った前年の11月末に、松の木の幹にルリタテハが下を向いてとまっているのを見つけた。時々観察に行っていたのだが、そのままの姿勢で動かなかった。冬を越しているのである。

ルリタテハは年に2～3回発生する。9月以降にチョウになったルリタテハは、成虫の姿で冬を越す。表は鮮やかな瑠璃色だが、翅を閉じれば見事な保護色になり、木の幹にとけ込んでしまう。だから動かないチョウを探すというのはとても難しい。今まで冬に越冬しているルリタテハを見つけたことは2度しかない。いつ頃飛び立つのかをとっても楽しみにしていた。

ところが春も近づいたある日、行ってみると、いるはずの場所にとまっていない。寒い日で、飛び立つわけではないから、どうしたのだろうと探してみると、雪の上に翅が1枚落ちていた。もう少しというところでカラ類かエナガに見つかって食べられてしまったのだろう、ルリタテハはとても素早いチョウなので、動ける時なら鳥に襲われることはほとんどないと思う。成虫で冬を越すというのはチョウにとってたいへんなことなのだと思った。



運用代行サービスいたします! twitter facebook Instagram YouTube Google YAHOO!

# これから始めるWEB広告

こんなお悩みありませんか?

WEB広告を出してみたいけど、何をすれば良いかわからない...

自社の商品・サービスをどうやってPRすれば良いかわからない...

そもそも良くわからないし、忙しくてやっつけられない...

様々な種類のSNS・WEB広告を一括サポートします!

Q1 どのくらい費用がかかるの?

1ヶ月の目安

一日1,000円～始められます!

**60,000円**～(税別)

※その他、条件により承ります。

内訳 ◎広告費:30,000円～(税別) ◎運用代行費:30,000円～(税別)

Q2 運用代行って具体的に何を?

- 結果を分析し、予算の中で効率化します
- 利用開始の手続き
- 表示する広告原稿の制作 (※制作する内容により、別途お見積り) など



A/C 地域情報&広告株式会社 アイク

小諸市御幸町2-12-1

Tel.0267-23-4474

www.aic-ad.co.jp